



梅雨入りした地域もあり、いよいよ本格的な出水期を迎えようとしています。

5月はそれらに向けた様々な点検、訓練が行われました。



洪水対応演習 5月19日



福島河川国道事務所での演習状況

大雨による河川の氾濫を想定した洪水対応演習が行われました。この演習では、出水時の対応手順の確認、監視カメラや情報システムを用いて迅速且つ正確な情報伝達を行い、これから迎える出水期に備えました。

重要水防箇所合同パトロール 5月21・22日



洪水時に堤防等の監視、巡視、水防活動を行う際、特に注意する必要がある重要水防箇所を把握し、緊急時の水防活動を的確に行えるよう、地元水防団の方々などと共にパトロールを行いました。

河川協力団体と堤防点検を行いました 5月18日

出水期を前に行っている堤防点検に、今回初めて河川協力団体：日出山アメンボウクラブの5名の方に参加して頂きました。地元住民の目線で南川樋門から1.9km区間を職員と共に点検し、堤防等に異常がないかを確認しました。



緊急時河川巡視実地訓練 5月27日

洪水や地震が発生した際、堤防や樋門等の被害箇所を早急に発見し被害拡大を防ぐ為の緊急時河川巡視を行います。巡視を行う協力業者と共に河川管理施設の状況把握や緊急時の点検箇所確認の訓練を行いました。

